

【2018年9月1日から2018年10月31日に中央5階病棟に入院または転棟された65歳以上の患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

高齢者のポリファーマシー*1対策に関する研究

*1：ポリファーマシーとは、多くのお薬を服用することにより、副作用などのあらゆる好ましくない、あるいは意図しない徴候、症状、または病気が生じている状態のことです。

【研究背景・目的】

加齢に伴い併存する病気が増えると処方されるお薬の数も多くなっていきます。服用しているお薬の数が増えると、有害な症状、転倒、残薬（飲み忘れ、飲み残し）が起こりやすくなります。このことを背景として、福岡県は今年度、医薬品適正使用促進連絡協議会が設置され、本協議会事業の1つとしてポリファーマシー対策を検討することになりました。そこで、飯塚病院におけるポリファーマシーへの対応を検討することでポリファーマシー対策の妥当性について明らかにし、更に有効で安全な薬物療法が実施されるようになることを目的として本研究を行ないます。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、2019年1月22日から2023年3月31日
- ・対象：2018年9月1日から2018年10月31日に中央5階病棟に入院または転棟された65歳以上の患者さん
- ・取得情報、および他施設へ提供する情報：
年齢、性別、診療科、入院（転棟）時薬剤数、退院時薬剤数、薬剤調整の必要性に関するスクリーニング*2項目の該当項目、減薬となった薬剤名、減薬後の転帰（減薬原因の改善状況）、薬剤総合評価調整加算の算定*3の有無

*2：スクリーニングとは、設定された条件（資料1）に合った項目を探し出すことです。

*3：薬剤総合評価調整加算の算定とは、6種類以上処方されているお薬に対し、適切に処方されているかを評価した上で2種類以上の減薬を行った場合の対価とされる報酬のことです。

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承ください。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

<飯塚病院>

研究責任者：飯塚病院薬剤部 薬剤部長 金澤 康範

研究分担者：飯塚病院薬剤部 薬剤師 進 健司、穴谷 大地

<共同研究施設における研究組織>

- ・主管施設名：福岡大学大学院薬学研究科

研究責任者：福岡大学大学院薬学研究科 教授 神村 英利

【問い合わせ先】

飯塚病院 薬剤部 進 健司

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）

資料 1

持参薬テンプレート（東大病院）

<p>薬剤総合評価</p>	<p>入院時に 6 種類以上の内服薬を服用しており、かつ下記の 1 つ以上の項目に該当する場合は、医師と共に多剤併用に関する薬剤調整の必要性について協議する 薬剤調整に関する検討の必要性 <input type="checkbox"/>あり <input type="checkbox"/>なし</p>
	<p>入院時の内服薬剤数_____種類（頓用薬や服用 4 週間未満の内服薬を除き、同一銘柄は 1 種類と計算）</p> <p><input type="checkbox"/>患者や家族から服薬困難の訴えや薬剤調整の希望あり</p> <p><input type="checkbox"/>65 歳以上で、高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015「特に慎重な投与を要する薬物のリスト」に該当する薬剤あり</p> <p><input type="checkbox"/>服薬管理能力の低下あり（認知力低下や視力障害、難聴、手指の機能障害など）</p> <p><input type="checkbox"/>同効薬の重複投与の観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり</p> <p><input type="checkbox"/>効果や副作用の観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり</p> <p><input type="checkbox"/>薬物相互作用の観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり</p> <p><input type="checkbox"/>患者の疾患や肝・腎機能などの観点から、多剤併用に関して検討対象となる薬剤あり</p> <p>上記該当項目に関する詳細</p>